

地域資源の高付加価値化に関する研究

－りんご剪定枝を原料とした水質浄化用活性炭に関する研究－

Study to add of value of local resources

-Development of activated carbon for purification of the water from Pruned Apple Branches-

廣瀬 孝・小野浩之

本稿では、水質浄化を活性炭の用途とし、りんご剪定枝活性炭および市販品との物性を比較検討した。その結果、りんご剪定枝活性炭は賦活時間が長くなるに従って比表面積、外部表面積、ミクロ孔容積、メソ孔容積の値が大きくなることが分かった。りんご剪定枝賦活時間 120 分および市販品 B のメチレンブルー吸着量が水道用粉末活性炭（日本水道協会）の基準値を越えた値を示した。外部表面積およびメソ孔容積の大きい活性炭がメチレンブルー吸着量は多くなる傾向を示した。

